

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 1 区分
 【発行日】平成30年4月12日 (2018.4.12)

【公表番号】特表2016-534755(P2016-534755A)
 【公表日】平成28年11月10日 (2016.11.10)
 【年通号数】公開・登録公報2016-063
 【出願番号】特願2016-550897(P2016-550897)
 【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 N 5/10

【手続補正書】
 【提出日】平成30年3月2日 (2018.3.2)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

改変された哺乳動物細胞であって、この改変細胞株が、非改変細胞ではほとんど増殖できないかまたは増殖不能であるボックスウイルスの増殖を保持するよう、構成的プロモーターの制御下にある C P 7 7 をコードする配列を含んでなるように細胞のゲノムが改変され、並びに、

該細胞のゲノムが、構成的プロモーターの制御下にある D 1 3 L をコードする配列、および/または、構成的プロモーターの制御下にある K 1 L をコードする配列をさらに含んでなる、細胞。

【請求項 2】

前記細胞のゲノムが、構成的プロモーターの制御下にある D 1 3 L をコードする配列を含んでなる、請求項 1 に記載の細胞。

【請求項 3】

前記細胞のゲノムが、構成的プロモーターの制御下にある K 1 L をコードする配列を含んでなる、請求項 1 に記載の細胞。

【請求項 4】

前記細胞のゲノムが、構成的プロモーターの制御下にある D 1 3 L をコードする配列、および、構成的プロモーターの制御下にある K 1 L をコードする配列を含んでなる、請求項 1 に記載の細胞。

【請求項 5】

前記細胞が連続細胞株である、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の細胞。

【請求項 6】

前記細胞が C H O 細胞である、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の細胞。

【請求項 7】

前記細胞がヒト細胞、霊長類細胞、ハムスター細胞またはウサギ細胞である、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の細胞。

【請求項 8】

C P 7 7 遺伝子の発現が、許容細胞株で見られるものと同等のウイルス収量を生成する

ようにウイルスの増殖を維持する、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の細胞。

【請求項 9】

C P 7 7 遺伝子の発現が、5 0 0 を超えるウイルス複製増幅比を維持する、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の細胞。

【請求項 1 0】

C P 7 7 が、哺乳動物細胞での発現のためにコドンが最適化された連続ヌクレオチド配列によりコードされている、請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載の細胞。

【請求項 1 1】

C H O 細胞では増殖しないオルソボックスウイルスを増殖させるための方法であって、*in vitro* で哺乳動物細胞株において該ボックスウイルスを増殖させることを含んでなり、

該細胞株が、構成的プロモーターの制御下に C P 7 7 をコードおよび発現するように改変されており、並びに、構成的プロモーターの制御下に D 1 3 L をコードおよび発現するように改変されている、および / または、構成的プロモーターの制御下に K 1 L をコードおよび発現するように改変されている、方法。

【請求項 1 2】

前記改変細胞株が、構成的プロモーターの制御下に D 1 3 L をコードおよび発現するように改変されている、請求項 1 1 に記載の方法。

【請求項 1 3】

前記改変細胞株が、構成的プロモーターの制御下に K 1 L をコードおよび発現するように改変されている、請求項 1 1 に記載の方法。

【請求項 1 4】

前記改変細胞株が、構成的プロモーターの制御下に D 1 3 L をコードおよび発現するように改変されており、並びに、構成的プロモーターの制御下に K 1 L をコードおよび発現するように改変されている、請求項 1 1 に記載の方法。

【請求項 1 5】

前記改変細胞株がヒト細胞、霊長類細胞株、ハムスター細胞株またはウサギ細胞株である、請求項 1 1 ~ 1 4 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 1 6】

前記細胞株が C H O 細胞株である、請求項 1 5 に記載の方法。